

「人文学の危機」と文学研究

いま文学理論に何ができるか

Historie

国際シンポジウム

日時 2016年7月31日(日) 13:00~18:00

場所 京都大学人文科学研究所本館1F・セミナー室1

講演

日高佳紀(奈良教育大学)

「谷崎潤一郎『文章読本』の射程と可能性」

リチャード・カリチマン(ニューヨーク市立大学)

「時間とアイデンティティ: 安部公房を読む」

アンヌ・バイヤール＝坂井(フランスINALCO)

「流動的なプロセスとしてのテキスト——
読む、読み返す、読み継ぐ、書く、流通させる」

ディスカッサント

中村三春(北海道大学)、岩松正洋(関西学院大学)

司会 大浦康介(京都大学)